

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
発行人 山崎 哲  
編集長 仲井 真裕  
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう  
願いに生きる人となる



頂法寺 六角堂（京都市中京区）

## 西徳寺の予定

### 3月

- 2日(木) 午後2時 評議員会役員会  
7日(火) 午前10時 仏具磨き  
8日(水) 午後7時 燈虹塾セミナー  
11日(土) 午後1時 帰命法会～関東大震災百回忌を機縁として～ 第三回  
15日(水) 午後1時半 婦人会聞法会  
18日(土)～24日(金) 春季彼岸会  
22日(水) 春季永代經法要、聖徳太子奉讚会、本山差向布教  
25日(土) 午後5時15分 同行会修習式 法話：高橋 淳  
26日(日) 午後2時半 城北ブロック会聞法会 場所：西徳寺

### 4月

- 5日(水) 午後7時半 燈虹塾セミナー(仮)  
8日(土) 午後5時半 同行会総会  
法話：蓮井 邦宗  
15日(土) 午後2時 定例聞法会  
19日(水) 午後1時半 婦人会40周年記念総会・聞法会  
23日(日) 午後2時半 評議員会総会  
30日(日) 午後2時半 中央ブロック会総会・聞法会  
場所：西徳寺

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。  
詳しくは寺務所までお問合せください。



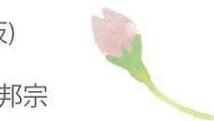
## 顧問の一言

### 称名の「称」について

辞書には「称名は唱名に同じ」とありますが淨土真宗では「称名」といい、その内容は大きく違います。「称」とはモノの重さをはかること。はかりの名を「称量」といいます。

南無阿弥陀仏のいわれをわが身に聞きますと、本当の私が見えてきます。そして教えを通して、「罪惡深重の身」にうなづいた時はじめて、あなたを救うという阿弥陀様の願いと、救われたいという私が釣り合うという意味で「称名」といいます。

合唱など、みんなで唱う意味とはかなり違います。



# えこおファイル在庫あります。

## 3月の山門の言葉



### 今日が始まりました!!

しかし私たちは終わったこと、過去のことになかなか区切りをつける事ができない。新卒社会人が「学生気分が抜けていない」等と叱咤されるよう。子どもの運動会でお父さんがいい所を見せようと全速力で走り、想像以上に体が言う事をきかず、見事に転ぶ姿がなじみの光景であるようだ。

どうしても過去の栄光や思い出にしがみつき、離れることが容易でない。その状態で新たな歩みを始めようとしても、心も身体もついていかないことは至極当然である。

「卒」とは、「おわる、しぬ」という意味がある。卒業とは、過去の業（いとなみ）が終わることをもって、新たな業が始まることである。もつといえば、過去の私が死ぬことをもつて、初めて新しい私が生まれるといえるのではないか。

過去に執着し、離れられない私たちは、いつまでたっても過去の延長線上を生きているに他ならない。そういう意味では、私たちは本当の意味で卒業できていないのだろう。しばらく卒業という行事に縁がない私だが、本来は日々卒業である。昨日が終わり今日が来る。当たり前のことであるが、決して昨日の延長に今日があるのではない。誰でも知っていることである。しかし過去を手放せない私たちは、受け取り難い事実である。

（蓮井 邦宗 記）

### ランドマーク 頂法寺「六角堂」 京都市中京区

京都市中央区にある六角堂、正式名称は紫雲山頂法寺。天台系の単立寺院です。本堂が平面六角形であることから一般には「六角堂」の通称で知られています。

聖徳太子が用明天皇2年(587)に創建したと伝えられ、慈悲の象徴である本尊・如意輪観音像が人々の信仰を集めてきました。現在の本堂は、1877年(明治10年)に再建されたものです。また、華道家元池坊が住職を務められ、いけばな発祥の地としても知られています。

親鸞聖人は建仁元年(1201年)の春頃、比叡山を下り、この本堂で100日の間、毎日参籠されました。95日目の明け方、「行者宿報設女犯 我成玉女身被犯 一生之間能莊嚴 臨終引導生極樂」という觀音菩薩の夢告、夢のお告げを得られました。その夢告を受けて、法然上人をたずねられたのです。



境内には親鸞堂もあります

# うばだいしゃ～共悩共歩～

## テーマ「時代」

優婆提舍(うばだいしゃ)論議の意。  
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。  
(例:淨土論=無量寿經優婆提舍願生偈)

今回は、私の趣味、ビリヤード仲間であり、西徳寺で開催されているロボット教室アシスタントの渡部嵩大さんにお話を伺いました。

渡部さんは現在、東京大学大学院・農学生命科学研究所・生物材料科学専攻・木質材料学研究室に在籍され、この3月に卒業されます。

### 【大学での研究】

専攻する生物材料学は、生物由来の様々な素材を研究していく、僕の在籍する木質材料学研究室では主に木材を加工し研究しています。「木材」というと切り出した生の木そのものを指すんですけど、その切り出した木材に人間の手で何らか加工する事で「木質材料」という言い方になるんですね。

僕の研究していることは「耐力壁」というもので、建物が地震や風によって起こる横揺れを抑える為に、合板や筋交いを設置したものなんですが、僕はガラスを使つた耐力壁の研究開発を行っています。

本来壁であるところにガラスの耐力壁を使用することで、眺めも失われることなく窓の代わりにもなり光を取り込むことが可能になります。ちなみに現在も企業と共にで研究している事になりますね。

### 【宮大工を目指すきっかけ】

大学で研究した事が、宮大工を目指すきっかけにはなりましたか、成り行きの結果というか、これまでにやつてきた事から考えて、宮大工という選択肢が出てきた感じです。大工ではなく宮大工を選んだのは、やっぱりお寺や神社の造形が好きというのがありますかね。

それと、実は宮大工が行っていることは、理系ではないかなと思っていて、例えば本堂の軒が反つていて部分にピッタリ合わせるような技術というのは、本当に工学だと思いますですね。



渡部嵩大さん



てお寺は構造が剥き出しで、構造がそのまま意匠(見た目)にもなつていいというのが、伝統建築が好きな理由ですね。

「構造即意匠」という言葉があるんですけど、「意匠」というのはデザインとか見た目という意味で、お寺とか神社の伝統建築物を表現する言葉として使われています。要するに構造を成り立たせる為にそれぞれの部材があり、それらが特徴的で綺麗な見た目になつてているということです。

### 【就職は京都の社寺建築会社へ】

卒業後は「京都社寺建築・匠弘堂」への就職が決まります。が、伝統を守ることに重きを置き、腕の確かな職人さんが多く在籍されている会社です。

伝統建築の技術は既に成熟していると思つてるので、僕たちの仕事は伝統を守ることだと思いますし、宮大工を目指して頑張つていきたいと思います。とにかく仕事に対して今からワクワクしています。

今日は突然の取材にも快くお引き受け下さり、本当にありがとうございました。また、「建築の面から見たお寺」という貴重なご意見も頂き、違う角度からお寺を見るという面白さも発見できただよと思ひます。

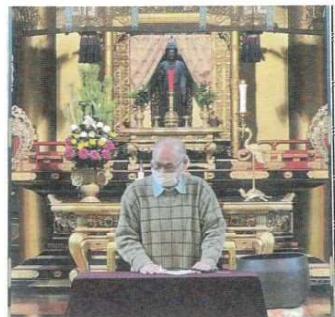
(聞き手 大橋伊知郎)

## 同行会新年会

1月28日（土）午後5時半より、同行会新年会を開催しました。本堂にてお勤め後、石井会長と山崎住職、大谷顧問より挨拶を頂きました。

その後、場所を移しての懇親会を行いましたが、3年振りとあって、話に花が咲いた有意義な時間を過ごさせていただきました。

（大橋 伊知郎 記）



石井会長

## 城東ブロック会報告

お寺より東側に住まわれている方を対象にした城東ブロック会が、オンラインも交えて西徳寺にて開催されました。

今回のテーマは「生老病死」。人間が必ず出遇う根源的な苦しみの言葉です。会場からは「外に出るのも本を読むのも、老いとはすべて億劫になることだ」というお言葉をいただきながらも、「親鸞聖人は80歳をすぎてなお、身を粉にしても骨をくだきても、その身をいただいたことへの感謝御礼を述べた」と語った大谷最高顧問。老いを通して、改めて生きることとは何かを考えた時間がありました。

（高橋 淳 記）



今回もオンラインを併用しました

## 城南ブロック会報告

2月12日、城南ブロック会聞法会を西徳寺梅檀の間において開催いたしました。

今回、始めてご参加された方、また久しぶりに足を運んで頂いた方もいらっしゃいました。

懇親会では日頃、思っていることを語らい、有意義なひとときでした。

次回は、久しぶりに西徳寺を出て、  
**5月14日（日）大井町きゅりあんにて総会・聞法会を開催する予定です。**

どうぞ皆様ご予定ください。

（山崎 哲 記）



## お知らせ

西徳寺婦人会が40周年を迎えます。（同封の「婦人会だより」をご参照ください）記念法話として沙加戸弘先生にお越し頂きます。

非会員もご聴聞いただけます。お問合せ・ご希望の方はお電話でお申し込み下さい。



## 春季永代経法要のご案内

西徳寺では聖徳太子の月命日に合わせ、春季永代経法要・聖徳太子奉讃会を勤修いたします。また本山より布教使をお迎えし、このご縁に南無阿弥陀仏のみ教えを皆様と共に聴聞させていただきたいと存じます。

### ●春季永代経法要・聖徳太子奉讃会・本山差向布教

日時：令和5年3月22日（水）

午前10時～	春季永代経法要・法話
午前11時半～12時	混声合唱団「エコー」演奏
正午	おとき（昼食）
午後1時半～	聖徳太子奉讃会・法話



### ●布教使紹介

梨本哲哉 布教使

新潟県弥彦村 法圓寺住職

柔らかい口調で語りかけてくださる布教使です。

皆様のご来寺お待ちしております。

### ※「おとき（昼食）」の申し込みのご案内

永代経法要に参詣された方に昼食をご用意させていただきます。ご希望の方は**3月15日（水）までにお電話にてお申し込みください。（Tel: 03-3875-3351）**

なお、恐縮ではございますが、法要執行のため、ご懇意をお納めいただきたく存じます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 燈虹塾ハイブリッドセミナー報告

江戸時代に生きた様々な顔を持つ酒井抱一（1761-1829）について、1月に続き日比谷孟俊塾頭よりお話を頂戴しました。

酒井抱一は多くの遊女に書の指導をされました。生徒の一人である粧ひは「ほのぼのと明石の浦の朝霧に島隠れ行く舟をしづ思ふ」という柿本人麻呂の歌を書いたのですが、書の上手さに石碑にされ、何と今でも浅草神社に収められていると教えていただきました。

また、日比谷塾頭は「自分が書いた字が200年ほど残されるなど、ワープロが普及した現代ではなお信じられない」と語られ、酒井抱一が遊女に与えた影響力の強さにただ驚かされました。

次回は**3月8日（水）19時より**、浮世写真家・喜千也氏よりお話を伺います。  
(事務局 高橋淳記)



浅草神社にある石碑

「一代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。

## 墓地管理料・維持会費納入のお願い

平素より門信徒の皆様には、当寺の護持発展に並々ならぬご尽力を賜りまして誠にありがとうございます。皆様の物心両面でのお力添えをもちまして、墓地ならびに本堂・諸施設の維持がでておりますこと、重ねて御礼申し上げます。

次年度も引き続きまして、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

墓地管理料(年間): 15,000円(西徳寺にお墓のある方)

維持会費(年間): 1口5,000円~(全門信徒の皆様)

※よろしければ同封の振込用紙をご使用ください。



## えこお志お礼



滋賀県 光台寺池下道場 様

ご淨財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせて頂きます。

## 【団体参拝旅行】

本山佛光寺「慶讃法会」団体参拝旅行の募集は間もなく定員となりますので、ご興味をお持ちの方は寺務所までお問い合わせ下さい。尚、キャンセル待ちも受け付けますので、お電話にて寺務所までお申し込み下さい。

## 内愚外賢

～賢者の信を聞きて、  
愚禿が心を顕す～

2月10日から20日まで、本山佛光寺の朝の法話、お茶所布教の為に京都に行ってきました。毎朝、寒い中、朝早くから聴聞に来られる皆様に頭が下がります。

毎朝いらっしゃるお同行の方々とお話すると、口々に「ご縁やね」と仰います。いい意味だけではなく、不都合なことも含んだ言葉がご縁です。思い通りにいかないのがご縁ありますが、そのご縁の中を生かされているんだと、布教に参った私が教えられる、そんな時間を過ごしております。

10日間、毎朝の法話は辛いものではあります、いただいたご縁を大切にして務めたいと思います。

(編集長 仲井 真裕 記)



えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com  
🌐 http://saitokuji.tobihiro.jp/



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook